

◆◆令和5年電気学会全国大会 日本学術会議連携一般公開シンポジウム◆◆

カーボンニュートラルの時代に『電気』が果たす役割 ～～未来につなぐ夢を語ろう～～

(日本学術会議 制御・パワー工学分科会の活動から)

主催：電気学会 後援：日本学術会議 自動車技術会
シンポジウム企画：日本学術会議 制御・パワー工学分科会

開催日時：令和5年3月15日(水) 13:30～17:15
開催形式：ハイブリッド開催(要・事前申し込み)
現地会場：名古屋大学東山キャンパス IB大講義室



【開催趣旨】

日本学術会議 制御・パワー工学分科会は『電気を作る・送る・活かす』に関わる課題を包括的に扱う分科会として『2050年カーボンニュートラル社会』の構築に向けた議論を進めてきました。今回、そこで得られた知見を広く社会に発信するため本シンポジウムを企画しました。シンポジウムの前半では、カーボンニュートラルに関わる電力の諸課題とその課題解決に関し、科学的・中立的立場で解説し、シンポジウム後半のパネルディスカッションでは、カーボンニュートラル(C.N.)社会を見据え、電気・電子工学が拓く数十年先の夢を、皆さんと考え、語りあいたいと考えます。2015年ノーベル物理学賞を受賞された梶田隆章先生の開会メッセージも頂きます。

【プログラム】

- 13:30開会 座長 熊田亜紀子(東京大学大学院教授,日本学術会議連携会員,電気学会理事)
☆『シンポジウム開催に向けてのメッセージ』
梶田 隆章(日本学術会議会長,東京大学特別荣誉教授,2015年ノーベル物理学賞受賞)
- 13:35 第一部「日本学術会議制御パワー工学分科会活動報告」
○『開会挨拶』および『C.N.を目指す社会に向けた学術会議制御・パワー工学分科会の活動報告』
中川 聡子(東京都市大学名誉教授,日本学術会議会員,電気学会元会長)
○『機器・システムの省エネ設計に向けた技術的寄与』
大崎 博之(東京大学教授,日本学術会議連携会員,電気学会前会長)
○『再エネ導入による電力系統の諸問題に対する技術的寄与』
横山 明彦(東京大学名誉教授,日本学術会議非会員,電気学会元会長)
○『エネルギーの有効活用による社会課題解決に向けた技術的寄与』
岩崎 誠(名古屋工業大学大学院教授,日本学術会議連携会員,電気学会Fellow)
- 14:55 全体質疑(15分)
15:10 休憩(10分)
- 15:20 第二部 パネル討論「C.N.社会に『電気』が拓く未来への夢を語る」モデレータ 河村 篤男
○『趣旨説明』河村 篤男(横浜国立大学寄付講座教授,日本学術会議連携会員,電気学会Fellow)
○『DER活用による次世代電力ネットワーク』
佐藤 育子(東電パワーグリッド(株)常務執行役員,日本学術会議非会員,電気学会元副会長)
○『自動車の電動化による次世代モビリティと変容する社会』
永井 正夫(東京農工大学名誉教授,日本学術会議連携会員,日本自動車研究所前所長)
○『Small-Mobility=バッテリーがつくる豊かな暮らし』
山中 直明(慶応義塾大学教授,日本学術会議連携会員,電子情報通信学会前副会長)
○『電気と食料が田園都市で生産される社会を目指して』
千住 智信(琉球大学教授,日本学術会議連携会員)
○『高効率電力変換器が拓く電力化社会の夢:直流配電・再生可能電力貯蔵』
河村 篤男(横浜国立大学寄付講座教授,日本学術会議連携会員,電気学会Fellow)
○『高校生による「2050年社会課題解決ピッチ」の現場から』
圓浄 加奈子(電気新聞編集局長,日本学術会議非会員)
- 16:20 パネル討論(50分)
17:10 総括 および 簡単なアンケート 中川 聡子(日本学術会議制御・パワー工学分科会委員長)
17:15 閉会

参加費：無料

お申込方法：会場参加は申込不要。リモートでの参加は、令和5年2月中旬から以下サイトより受付

<https://www.iee.jp/blog/taikai2023/>

お問い合わせ：電気学会全国大会事務局

E-mail：taikai10@iee.or.jp Tel：03-3221-7313

*講演資料は無料でダウンロード

できます。(3月上旬以降)

本シンポジウムサイト：

https://www.iee.jp/blog/taikai2023_symp_h1/

